



三豊総合病院における糖尿病療養指導士の活動紹介

糖尿病専門医 4 名 日本糖尿病療養指導士 24 名

看護師 7 名 管理栄養士 9 名 理学療法士 4 名 臨床検査技師 2 名 薬剤師 2 名 です。

活動内容

糖尿病生活習慣支援チーム

糖尿病専門医と療養指導士(CDE-J)、各病棟の糖尿病リンクナースで、月1回定例会を行っています。

毎月テーマを決めて療養指導士の資格を持つ専門職種からの講義や新薬、デバイスの最新情報を WEB セミナーにて学んでいます。また院内における糖尿病関連のインシデントをチームで共有し、防止策やインシデント後の観察や対応について振り返りを行っています。学んだことは各部署に持ち帰り伝達することでレベルアップにつながられるようにしています。

糖尿病腎症予防

健康管理センターでは、糖尿病性腎症重症化予防への取り組みを観音寺市、三豊市と連携して行っています。

保健指導は1年間継続して行い、その後は外来やかかりつけ医につないだり、当院が運営している健康講座「糖尿病教室」への参加などの案内をして継続できるように取り組んでいます。

「みとよ サプリ(薬じゃないけど体にいいお話)」の講話担当

外来待合ホールにて外来患者や一般の市民の方を対象に、年1回、講話をしています。昨年は「食後高血糖」をテーマに実施しました。その内容は病院の広報誌「こころ」にも掲載し参加できなかった方にも読んでいただけるよう啓蒙しています。

そのほかにも、糖尿病教育入院の実施や外来における、インスリン導入、SMBG・FGM 導入、フットケア

新人看護師教育等様々な分野で、糖尿病合併症発症予防、知識の獲得、地域連携、セルフケア支援など、チームで協力し取り組んでいます。

